

芸術文化活動を 助成します。



2019年度文化による地域の元気創出助成事業

秋田県では地域の文化資源を活用した交流人口の拡大や地域の特色ある取組を支援するため、民間団体が行う芸術文化活動等に対して、文化による地域の元気創出事業費補助金（以下「補助金」）により助成します。

なお、補助金の申請には「beyond 2020 プログラム」の認証を受けること（受ける見込みにあることを含む）が条件となります。

○2019年4月1日から2020年3月31日までの事業が対象です。

対象団体、事業についてはP2～3へ

○通常枠の補助申込額は10～40万円です。

○交流人口拡大枠の補助申込額は100～300万円です。

補助対象経費、補助金額についてはP3～4へ

○申込締切は2019年4月5日（金）です。

申込から交付までの流れ、申込書の提出についてはP5～6へ

申込書はP13～19にあります。

この事業は、県議会において2019年度予算議決後に正式決定となりますので、あらかじめ御了承ください。

I 補助金交付の対象団体と事業

(1) 補助金交付の対象となる事業の実施期間

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(2) 補助金交付の対象となる団体

本県の文化振興に貢献することを主たる目的とする団体で、次の要件を満たす民間団体です。

- ① 県内に所在地若しくは活動の本拠を有すること、又は本県に係る文化事業を行うこと
- ② 事業を完遂できる見込があること
- ③ 一定の規約を有し、かつ代表者が明らかであること
- ④ 会計経理が明確であること

(3) 補助金交付の対象とならない団体

- ① 専ら営利を目的とする団体
- ② 特定の政治活動又は宗教活動を目的とする団体
- ③ 補助金を除く自己負担金等の金額を確実に調達できる見込みがない団体
- ④ 2019年度に当該事業に対して県から他の補助を受けている団体
- ⑤ 通常枠の申請において、原則として平成20年度以降に3回、秋田県芸術文化振興基金補助金及び本補助金の交付を受けている団体（団体名称が異なる場合であっても、役員構成等から実質的に同一と判断できる団体）
- ⑥ 交流人口拡大枠の申請において、原則として過去に5回、本補助金の交付を受けている団体（団体名称が異なる場合であっても、役員構成等から実質的に同一と判断できる団体）

(4) 補助金交付の対象となる事業

対象となる団体が自ら主催し、「beyond 2020プログラム（※別紙を参照）」の認証を受ける（受ける見込みにある）おおよそ次のような事業です

【通常枠】

- ① 広く県民に公開される音楽、演劇、舞踊、文芸、美術等に係る文化事業
- ② 子どもや若者など若い世代を対象とする事業や、ワークショップなどの芸術文化体験型あるいは後継者育成型の事業
- ③ 国内外への文化祭等への参加又は文化交流のための事業
- ④ 国指定、国選択、県指定または市町村指定無形民俗文化財で後継者を育成するために行う研修や記録作成などの事業
- ⑤ その他芸術文化の振興のため特に必要と認める事業

【交流人口拡大枠】

- ① 地域の文化芸術資源を活用し、多様な文化芸術の発展や持続的な地域経済の発展に資する事業
- ② 東北規模、全国規模の文化事業で交流人口の拡大に資する文化事業

(5) 補助金交付の対象とならない事業

- ① 学校教育関連の活動、企業宣伝活動、文化事業を専業とする営利団体の事業
- ② 寄付を目的として行われる慈善事業による公演・展示等の活動

(6) 明らかな理由がなく会計・事務処理が大幅に遅れ、交付事務処理に支障を来した団体においては、翌年度以降の申込を受け付けないことがあります。

Ⅱ 補助金額について

【通常枠】

補助対象となる経費から入場料等収入を控除した額の2分の1以内の額で、40万円を限度とします。
(原則として、補助金申込金額(計画額)が10万円以上の事業を対象とするので御留意ください。)

【交流人口拡大枠】

補助対象となる経費から入場料等収入を控除した額の3分の2以内の額で、300万円を限度とします。
(原則として、補助金申込金額(計画額)が100万円以上の事業を対象とするので御留意ください。)

※既に本事業補助金の交付を3回受けた団体については、4回目以降は前回交付額の8割の額を限度額と
します。

Ⅲ 補助金交付の対象経費

〈 助成事業採択申込書の作成に当たっての留意点 〉

入場料等収入については、入場料や広告料収入のほか、補助対象となる事業に対する市町村等からの補助金・企業からの協賛金・寄付金等を記入してください。

交付決定額が申込額になるとは限らず、不採択の場合もあります。また、申請時と実績時の内容に大きな変動がある場合は、補助金の交付を取り消すこともあるほか、補助対象経費及び入場料等収入の実績金額に基づいて補助金額を再計算するため、当初交付決定額より最終の交付金額が減額になることがありますので、無理のない事業規模、自己財源の確保等に留意してください。

上記に留意し、次の「補助金交付の対象となる経費(補助対象経費)」を申請してください。

〈補助対象経費〉は、次のとおりです。

項 目	内 訳
人にかかわる経費	演出・文芸費 演出料、監修料、振付料、舞台監督料、デザイン料、各種助手料、台本料、訳詞料等
	謝 礼 講師謝金、編集謝金、原稿執筆謝金、会場整理員賃金、指揮料、演奏料、出演料等
	旅 費 交通費（実費相当額（自家用車利用の場合は、1kmにつき37円で計算した額）、高速道路利用料、宿泊費（1泊につき11,800円を限度とし、食事代を除く。）
開催会場にかかわる経費	設営費 会場設営・撤去費、展示工作費、（申請団体の構成員以外の）美術作品・楽器・道具運搬費、看板制作費、ピアノ調律費等
	舞台費 大道具・小道具費、衣装費（レンタル）、効果（照明・音響）費等
	委託費 設営や舞台にかかわる経費等で外部に委託する費用
	印刷費 プログラム
	会場費 会場使用料（付帯設備費を含む。）等
事業周知にかかわる経費	印刷費（ポスター・チラシ）、広告宣伝費 （事業周知に係るポスター等の送料は対象外）

美術・文芸・伝統芸能分野	図録・記念誌等、史料価値があり、公共施設等へ配付する印刷物の印刷費、郵送費を対象とします。
リハーサル	公演日前3ヶ月以内のリハーサル（1回のみ）にかかわる経費（会場費・指導料・旅費等）も対象となります。

〈補助対象外経費〉は次のようなものです。

項 目	内 訳
賞金・謝礼	謝金以外の花束・菓子代等、コンクールの審査員謝金、賞金、賞品代、内部講師（申込団体の構成員）にかかる謝礼
旅 費	コンクールの審査員交通費、宿泊費 航空・列車運賃の特別料金（ファーストクラス料金、グリーン料金）
手数料	入場券販売手数料、振込手数料、著作権使用料、マネージメント料、各種保険料
食糧費	飲食代（申込団体の構成員・ゲスト等全て）
会議費 練習費	会議、練習に伴う経費（会場費、指導料、旅費等。対象経費となったりリハーサルを除く。）、パーティー開催経費
備品費	楽器購入費、美術作品購入費
印刷費	入場券（チケット）の印刷費、記念写真、主に団体の活動等を紹介する内容のパンフレット等（事業終了後も団体運営等に活用できるもの）
団体の運営にかかる経費	○ 申込団体構成員にかかる経費（出演・出品料、謝礼、旅費、通信費） ○ 事業終了後、団体に残るもの（衣装・楽器、美術作品、文房具、記録費） ○ 事業終了後のお礼・報告にかかる経費

IV 助成事業採択申込書の提出

1 申込から交付までの流れ

※ が、申込者の行う手続きです。

2月下旬
2月27日(水)～
4月5日(金)
締め切り
(厳守)

- 募集申込書の配布開始
- 募集開始 **申込受付開始は2月27日(水)です。**

助成事業採択申込書等の提出

- 〈 提出書類 〉
- ・ 採択申込書
 - ・ 事業実施計画書
 - ・ 収支予算書
 - ・ 団体の概要 (会員名簿・団体の規約等添付)
 - ・ 補助金実績調書
 - ・ 採択申込チェックシート

4月下旬 (予定)

- 審査委員会の開催
- 補助金の内示
採否にかかわらず通知します。
審査の進行によって通知が遅れることもあります。

補助金交付申請書等の提出

5月下旬 (予定)

- 補助金交付決定通知

※事業に変更が生じた場合

事業実施

事業変更承認申請

→ 交付決定変更通知

事業完了の日
から1ヶ月以内又は
3月31日のいずれ
か早い日までに提出

補助事業の実績報告書の提出

※提出書類に不備があった場合申請団体に問い合わせの上、書類を整えていただくこととなります。そのため補助金交付まで時間がかかることがあります。

〈 提出書類 〉

- ・ 補助事業実績報告書
- ・ 事業実績書
- ・ 収支精算書
- ・ 実施記録資料 (写真、印刷物等)
- ・ 収入及び支出を証明する書類等 (現金出納表 (様式指定) 及び補助対象経費に係る領収書のコピー等)
- ・ 事業実施時に会員に変更があった場合は、変更後の会員名簿

※補助金交付決定通知の際に実績報告書等の様式等について具体的に連絡します。

請求書提出

※実績報告書に係る会計関係書類等の書類一式については、5年間保存すること。

- 事業の検査確認・補助金額の確定
- 補助金交付・団体名義の指定口座振り込み

2 申込書の提出に当たっての留意事項

- (1) 助成事業採択申込書等は、補助金交付対象事業等の採否審査に係る基本資料となりますので、十分検討のうえ提出してください。また、関係資料（前年度実績の資料等）があれば添付してください。
- (2) 実施計画書及び収支予算書については、実際に行う事業と内容、経費等に大きな違いが生じないように、十分精査して作成してください。
- (3) 補助金交付決定額が、申込額どおりになるとは限らず、また、事業の内容等によっては不採択の場合もありますので、無理のない事業規模、自己財源の確保等に留意してください。
- (4) 交付決定した事業については、事業実施会場及び事業実施に際して作成される印刷物（チラシ、パンフレット等）には、以下のとおり表示してください。（決定後に詳細をお知らせします。）

[表示例]

助 成： 秋田県芸術文化振興基金助成事業（ロゴマークを入れて表示してください。）

3 申込書の提出手続きについて

(1) 提出書類の作成方法

- ア 提出用紙は、この募集案内に綴じ込みの用紙をコピーして使用するか、県のホームページ「美の国あきたネット」から申込書等の様式をダウンロードして使用してください。

「美の国あきたネット」トップページ「組織別一覧」→「観光文化スポーツ部」→「文化振興課」→「お知らせ・イベント」のページからダウンロードできます。

- イ 提出した書類については、記載内容に関して問い合わせをさせていただくことがありますので、必ず写しをとり、保管するようにしてください。

(2) 提出部数・受付期間・提出先

- ◎提出部数 各1部
◎受付期間 2019年2月27日（水）から
2019年4月 5日（金）まで【必着】
（郵送等による送付が持参で提出願います。土日・祝日は休みです。）

◎提出先

〒010-8572（県庁専用郵便番号：住所の記載は不要です。）

秋田県観光文化スポーツ部 文化振興課 調整・文化振興班

◎問い合わせ先 電 話：018-860-1530

メール：bunkashinkouka@pref.akita.lg.jp

- (3) 補助金の内示及び補助金交付決定通知後の事務手続等については、それぞれの通知と併せて連絡します。

記入例 ①

文化による地域の元気創出助成事業採択申込書

平成31年2月27日

↑

※平成31年2月27日から4月5日
までの提出する日付を記入してください。

(あて先) 秋 田 県 知 事

※法人にあつては事務所の所在地
住 所 〒010-0951
秋田市山王4-1-2(〇〇方)
※事務局等が個人宅の場合、
方書を付けてください。

氏 名 (※団体名・代表職氏名を記入)
現代舞踊公演実行委員会
会長 文化 秋子 ㊟ (※会長の印、又は代表者の私印)
(※〇〇会の印のみは不可)

2019年度において、次のとおり助成事業を採択されるよう申し込みします。

- 1 補助金の名称 文化による地域の元気創出事業費補助金
- 2 補助事業の種類 通常枠 ・ 交流人口拡大枠 (いずれかを選択)
- 3 補助金の申込額 1,053,000 円 (注:この数字は記入例の額です。)
※千円未満は切り捨てとなります。
- 4 補助事業の実施期間 2019年11月4日から2019年12月4日まで

※ 公演、展示等を実施する日(本番の日)から実績報告書を提出する日までです。

※ 2019年4月1日から2020年3月31日までの事業が対象です。

5 beyond2020 認証

認証申請年月日 平成31年 2月28日 予定

認証通知年月日 平成31年 3月30日 予定

※ 予定の場合はを入れてください。

記入例 ②

事業実施計画書

代表者職氏名「会長 文化 秋子」

事業名	現代舞踊公演	団体名	現代舞踊公演実行委員会
実施場所	〇〇文化会館	事業実施期間	2019年11月4日 ※事業実施日
<p>①事業の趣旨 ※公演、演奏会、展覧会等事業の趣旨や目的、助成による効果等について記入してください。</p> <p>国民文化祭で実施した「現代舞踊フォーラム」を基に、舞台監督に世界公演を行うなど幅広い活躍とともに後身の育成にも力を入れている△△氏を迎え、県内外の舞踊団体が一堂に会し発表する。団体間の交流を広げ、技術の向上にも役立てる。舞踊に対する県民の関心を高める。</p>			
<p>②事業の内容 ※演目、曲目、舞台構成、主な出演団体(者)、主な展示作品、展示点数等について、具体的に記入してください。別紙(プログラム)添付も可。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3部構成で、第1部は各団体による発表、第2部は団体混合のオリジナルダンス、第3部は全国で活躍する〇〇氏振付によるダンスを全員で披露する。 ・出演団体は、県内団体6、県外団体5(要綱添付。) 			
<p>③事業の企画について工夫したところ ※今回の事業の特徴を具体的に記入してください。</p> <p>現代舞踊のすばらしさを多くの人に伝えるため、ダンスの公演をあまり見たことのない方にも分かるように指導者による現代ダンスの解説を交えて紹介する。</p>			
<p>④出演・出品等予定者数</p> <p>総数 85人(内訳:主催団体の構成員 75人 構成員以外 5人 公募 5人)</p>			
<p>⑤入場予定者数 1,000人 ※出演者や係員等は含みません。</p>			
<p>⑥入場料徴収 (する・しない) ←※ どちらかに○をし、以下の点について具体的に記入</p> <p>※入場料を徴収「する」場合→「入場券発売の方法」・「入場予定者数確保の方法」 徴収「しない」場合→「入場料を徴収しない理由」・「入場予定者数確保の方法」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内各プレイガイド、楽器店、当事務局、会員でチケット販売を行う。 ・市内、県内外での広報を次のように積極的に行うとともに会員も近隣に働きかける。 			
<p>⑦広報予定先と主な広報予定手段</p> <p>※事業の広報について「範囲」「手段」「期間または回数」を記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内→チラシ配布(市内各楽器店、市内各公民館、9月下旬より) ・県内→新聞広告(〇〇新聞、10月1回)、テレビスポット(〇△局、10月1回) ・県内外→ホームページ掲載(7月中旬より) 			
<p>⑧後援予定者等 〇〇市教育委員会、〇〇株式会社</p>			

◎事業実施計画書の記載内容は、採否に係る基本的な審査資料となります。事業の独自性や県民への波及効果等について、十分検討のうえ、記入してください。

記入例 ③

⑨収支予算積算内訳 (※記入例)

※収入総額と支出総額は一致します。

団体名	現代舞踊公演実行委員会
-----	-------------

収入の部		支出の部		
内 訳	今回予算額	内 訳	今回予算額	
入 場 料 等 収 入	入場料収入 (※単価及び枚数を明記) @1,000 円×1,200 枚	1,200,000	補 出演費 @80,000 円×5 人 助 演出・文芸費 謝金 振付@300,000 円×1 人 舞台監督@200,000 円×1 人	400,000 300,000 200,000
	場 広告料 (※印刷物等の広告で得る収入) @15,000 円×10 社	150,000	対 旅費 交通費 28,100 円×6 人 =168,600	252,600
	等 その他の収入 (〇〇市補助金) (※市町村補助金、寄付金等)	50,000	象 宿泊費 @7,000 円×2 泊×6 人 =84,000	(※宿泊費に 朝・夕食等の 飲食費は含ま れません。)
	収 印刷費 (ポスター・チラシ・プログラム)		費 印刷費 (入場券の印刷費は 補助対象外です。)	500,000
	入 舞台費 音響・照明委託料 大道具等		費 舞台費 音響・照明委託料 大道具等	780,000 400,000
小 計 (イ)	1,400,000	費 会場費 会場使用料	148,000	
自己負担金 (ロ)	881,440	小 計 (A)	2,980,600	
文化による地域の元気創出事業費 補助金	1,053,000	補 謝金 (花束)	18,000	
申 込 額 (ハ)		対 食糧費	250,000	
収入総額 (イ) + (ロ) + (ハ)	3,334,440	象 印刷費 (入場券の印刷費は 補助対象外です。)	50,000	
		外 通信料	35,000	
		経 振込手数料	840	
		費 小 計 (B)	353,840	
		支出総額 (A)+(B)	3,334,440	

※ 補助金申込額は、**補助対象経費 (A) から入場料等収入 (イ) を控除した額をもとに、通常枠は2分の1以内の額で10万円以上40万円以下、交流人口拡大枠は3分の2以内の額で100万円以上300万円以下を原則**とします。

(※千円未満切り捨て)

上記例：(補助対象経費 (A) 2,980,600 円－入場料等収入 (イ) 1,400,000 円) × 2/3 ※交流人口拡大枠
=1,053,733 円 → 千円未満切り捨て → 1,053,000 円

文化による地域の元気創出事業費補助金 申込額 **1,053,000 円**

(この1,053,000円が算定上の上限です。申込額は、これと同額でも少額でも構いません。)

- ①収支予算書の金額について、できる限り単価・数量等の内訳を明記してください。不明の場合は算定根拠を求める場合があります。
- ②申請時の予算額と実績報告の決算額に変動がある場合、補助金を減額することがあります。
- ③申請時の事業内容と実績報告時の事業内容に大きな変動があり、当初の趣旨で事業実施がなされなかったと判断される場合は、交付を取り消すこともあります。

◇ できる限り正確に記入してください。 ◇

記入例 ④ ※前年度に事業がない場合、「本年度予算額」欄のみ記載してください。

(「前年度予算額」「差引増減」欄への記載は、不要です。)

収支予算書

収入の部

(単位：円)

区 分	本年度 予算額	前年度 予算額	差 引 増 減		摘 要
			増	減	
入場料収入	1,200,000	700,000	500,000		1,000円×1,200枚
広告料収入	150,000	0	150,000		15,000円×10社
〇〇市補助金	50,000	30,000	20,000		
自己負担金	881,440	1,000,000		118,560	
文化による地域の元気 創出事業費補助金申請額	1,053,000	0	1,053,000		
計	3,334,440	1,730,000	1,723,000	118,560	

支出の部

(単位：円)

区 分	本年度 予算額	前年度 予算額	差 引 増 減		摘 要
			増	減	
出演料	400,000	0	400,000		
謝金(振付)	300,000	0	300,000		
舞台監督料	200,000	100,000	100,000		
交通費	168,600	50,000	118,600		
宿泊費	84,000	40,000	44,000		
印刷費(ポスター・チラシ・プログラム)	500,000	300,000	200,000		
音響・照明委託料	780,000	300,000	480,000		
大道具費	400,000	200,000	200,000		
会場使用料	148,000	200,000		52,000	
謝金(花束)	18,000	50,000		32,000	
食糧費	250,000	400,000		150,000	
印刷費(入場)	50,000	70,000		20,000	
通信料	35,000	20,000	15,000		
振込手数料	840	0	840		
計	3,334,440	1,730,000	1,858,440	254,000	

※同年度において、収入の合計額と支出の合計額は一致します。

記入例 ⑤

申込する月を記入



団体の概要 (平成31年2月現在)

団体名	現代舞踊公演実行委員会 ※ 助成事業採択申込書と同じ						
団体設立年月	平成29年4月						
組 織	構成員数 ※申請時 の人数	75名 ※構成員(会員・団員)名簿を添付のこと					
	主な役職員 ※主な役職 を記入	会長 文化 秋子 副会長 秋田 太郎		企画部長 木角 良子 会 計 山王 次郎			
沿 革	<p>※ 団体の設立年からの主な活動歴を記入してください。</p> <p>平成29年4月 設立</p> <p>平成29年10月30日 現代舞踊フェスティバル in 秋田開催</p> <p>平成30年10月16日 第1回現代舞踊公演開催</p>						
活 動 の 様	<p>※ 定期的活動や地域・社会に貢献している活動等を記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第2・4土曜日に公開練習をし、興味のある人の参加を促している。 ・月に一度、老人ホーム・病院等での訪問活動や、公的施設での公演を行い、交流を図っている。 						
今 後 の 活 動	<p>※ 団体としての今後の見通しや新たな取り組み等を記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問をして、子どもたちとの交流をする予定(2019年7月) 						
公 演	区 分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	・ 団体が自ら 主催した公 演・展示・ 大会等の事 業及び入場 者数	事業名	入場者数	事業名	入場者数	事業名	入場者数
			現代舞踊フェス ティバル in 秋田	1,200 人	第1回現代舞踊 公演	1,200 人	
事 務 担 当 者 氏 名	〇〇 〇〇	電 話 番 号	(〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇	F A X 番 号	(〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇		
		メールアドレス	awt1302@kelsi.ne.jp				

* 団体の規約等を添付すること。

※ 緊急におたずねすることもあります。確実に連絡がとれるよう、連絡先を2カ所にしたり、携帯電話番号やメールアドレス等をお知らせくださるようお願いいたします。

記入例⑥

* 通常枠、交流人口拡大枠にかかわらず、全ての申込団体が記入してください。

補助金実績調書

団体名 現代舞踊公演実行委員会

1 文化による地域の元気創出事業費補助金及び秋田県芸術文化振興基金補助金（既存の芸術文化活動支援事業による補助金）の交付実績の有無について

これまでに、これらの補助金を受けたことがありますか？

（該当する番号に○をしてください。）

1 ある 2 ない

2 これまでの実績について

「1 ある」に○をした団体は、以下の該当する項目について記入をお願いします。

年 度	事 業 名	補 助 金 額
平成20年度		
平成21年度		
平成22年度		
平成23年度		
平成24年度		
平成25年度		
平成26年度		
平成27年度		
平成28年度		
平成29年度	現代舞踊フェスティバル in 秋田	1,200,000
平成30年度		

文化による地域の元気創出助成事業採択申込書

平成 年 月 日

(あて先) 秋 田 県 知 事

住 所 〒

氏 名 ㊟

2019年度において、次のとおり助成事業を採択されるよう申し込みします。

1 補助金の名称 文化による地域の元気創出事業費補助金

2 補助事業の種類 通常枠 ・ 交流人口拡大枠

3 補助金の申込額 円

4 補助事業の実施期間

年 月 日 から 年 月 日まで

5 beyond2020 認証

認証申請年月日 年 月 日 予定

認証通知年月日 年 月 日 予定

事業実施計画書

代表者職氏名「」

事業名		団体名	
実施場所		事業実施期間	
①事業の趣旨			
②事業の内容			
③事業の企画について工夫したところ			
④出演・出品等予定者数 総数 人（内訳：主催団体の構成員 人、構成員以外 人、公募 人）			
⑤入場予定者数 人			
⑥入場料徴収（する・しない）			
⑦ 広報予定先と主な広報予定手段			
⑧ 後援予定者等			

⑨収支予算積算内訳

		団体名		
収入の部			支出の部	
内 訳		今回予算額	内 訳	
			今回予算額	
入 場 料 等 収 入			補 助 対 象 経 費	
			小 計 (A)	
			補 助 対 象 外 経 費	
	小 計 (イ)			
自己負担金 (ロ)				
文化による地域の元気創出 事業費補助金 申 込 額 (ハ)			小 計 (B)	
収入総額 (イ) + (ロ) + (ハ)			支出総額 (A) + (B)	

補助金申込額

円 (※千円未満切り捨て)

収支予算書

収入の部

(単位：円)

区 分	本年度 予算額	前年度 予算額	差 引 増 減		摘 要
			増	減	
計					

支出の部

(単位：円)

区 分	本年度 予算額	前年度 予算額	差 引 増 減		摘 要
			増	減	
計					

団体の概要 (平成31年 月現在)

		団体名						
団体設立年月		年 月						
組 織	構成員数	名						
	主な 役職員							
沿 革								
活 動 の 様 子								
今 後 の 活 動								
公 区 分	平成28年度		平成29年度		平成30年度			
演 ・ 主 催 し た 展 示 等 実 績	事業名	入場者数	事業名	入場者数	事業名	入場者数		
事 務 担 当 者 氏 名			電話 番号			FAX 番号		
			メールアドレス					

*構成員（会員・団員）名簿、団体の規約等を添付すること。

補助金実績調書

団体名 _____

1 文化による地域の元気創出事業費補助金及び秋田県芸術文化振興基金補助金（既存の芸術文化活動支援事業による補助金）の交付実績の有無について

これまでに、これらの補助金を受けたことがありますか？

（該当する番号に○をしてください。）

1 ある 2 ない

2 これまでの実績について

「1 ある」に○をした団体は、以下の該当する項目について記入をお願いします。

年 度	事 業 名	補 助 金 額
平成20年度		
平成21年度		
平成22年度		
平成23年度		
平成24年度		
平成25年度		
平成26年度		
平成27年度		
平成28年度		
平成29年度		
平成30年度		

文化による地域の元気創出助成事業 採択申込書チェックシート

団体名 _____

事業名 _____

募集案内の記入例を参照のうえ、作成した提出書類に不備等がないことを□欄にチェックを入れ、最終確認してください。

★ 提出書類について

- 団体の定款、規約・会則等を添付しましたか。
- 団体の構成員（会員・団員等）名簿を添付しましたか。

★ 助成事業採択申込書について

- 日付は、平成31年2月27日以降になっていますか。
- 団体名に記入している団体が主催者ですか。
- 代表者の印が押されていますか。
- 補助金の申込額について、千円未満を切り捨てましたか。
- 補助金の申込額が各枠の規定範囲内になっていますか。
(通常枠: 10～40万円、交流人口拡大枠: 100～300万円)
- 補助事業の実施期間が2019年4月1日から2020年3月31日までの期間内になっていますか。

★ 事業実施計画書について

- 審査委員会における審査資料になるものですが、事業の趣旨・内容等が充分理解できるものになっていますか。(記入漏れはありませんか。)

★ 収支予算積算内訳について

- 入場料等収入について、単価及び数量等の内訳を記入しましたか。金額等については充分精査しましたか。
- 補助対象経費に、団体構成員に係る出演料、謝金、旅費、宿泊費等が含まれていませんか。
- 補助対象経費に含まれている衣装費はレンタルするものですか。
- 補助対象経費に、事業終了後に団体に残る衣装代、文房具等の消耗品費、写真やDVD等の記録に要する経費等が含まれていませんか。
- 補助対象経費に、入場券の印刷代が含まれていませんか。
- 補助対象経費に通信費（郵送料等）が含まれていませんか。
- 補助対象経費（宿泊費）に、朝・夕食代等の飲食費が含まれていませんか。
- 補助対象経費（リハーサルの会場費）に、リハーサル1回分以外の会場使用料等が含まれていませんか。
- 補助対象経費に、上記経費のほか、募集案内（P4）に掲げる補助対象外経費が含まれていませんか。
- 収入総額と支出総額は一致していますか。

★ 収支予算積書について

- 前年度も事業を実施した場合は前年度予算を記入し、本年度予算との増減額について分析し精査しましたか。収入の部と支出の部の計の額は一致していますか。

★ その他

- 実績報告書には現金出納表や領収証の写しを添付すること、実績報告に係る会計関係書類等を5年間保存することなど、事業全体のスケジュールや事務手続について理解しましたか。(募集案内P5参照)
- 控えとして、申込書の写しを取りましたか。(必ず保管してください。)